

テーマ

宮崎基地特攻資料展

宮崎基地特攻資料展

検索

第二次世界大戦中に日本各地で起こった悲劇が二度と繰り返すことのないよう、大学生をはじめとする若い世代に戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えることを目的として、宮崎大学が宮崎特攻基地慰霊祭実行委員会と協力して、2020年度から附属図書館で開催しています。

会場には、現在の宮崎空港である宮崎基地（赤江飛行場）から出撃した特攻隊員達の遺影や特攻隊員が家族にあてた手紙や遺書などを並べたパネル、当時の宮崎基地の全貌が描かれたパネル、アメリカ軍兵士が実際に使用していた装備品などを展示しているほか、MRT宮崎放送の協力を得た映像視聴コーナーを設置しています。また、宮崎県内で飛行中に撃墜されたり、不時着したことなどが原因で命を落としたアメリカ兵38人の資料も展示していて、日米双方からの視点による展示をしていることが特徴でもあります。



【2022年度展示資料一覧】

- ① 宮崎大学教育学部附属小学校爆撃の真実
- ② 関連図書コーナー
- ③ MRT特集映像視聴コーナー
- ④ 菊水部隊銀河隊員の遺影
- ⑤ 宮崎基地の全貌
- ⑥ 遺書（遺された声）
- ⑦ 命を落としたアメリカ軍兵士の遺影
- ⑧ アメリカ軍兵士装備品



今の日本の平和と繁栄は当たり前のものでしょうか？本資料展においては、祖国と家族を守るために、旧海軍航空隊宮崎基地（赤江海軍飛行場）から出撃し散華された方たちの遺影や遺書などを展示いたしております。戦争のない平和な時代をこれからも守り築いていくため、少しでも多くの方に悲惨な事実を知っていただければ幸いです。
企画・監修 稲田 哲也(南九州文化研究会)

